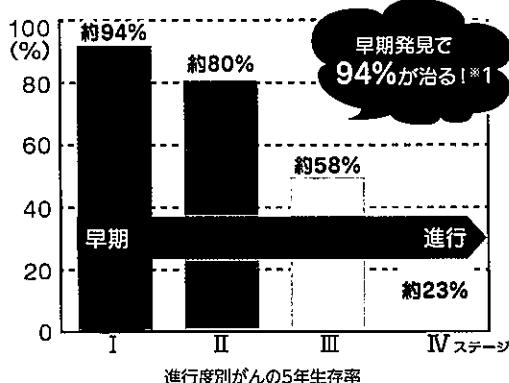


がん検診等のご案内

早期発見が、あなたの**命**を救います。

会社などでがん検診等の受診機会の無い方を対象に各種検診・検査を行っています。



出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'22」

●ステージの説明

I:がん腫瘍は広がるが筋肉層でとどまっている

II:がん腫瘍は筋肉層を超えて広がり、リンパ節に少し届くことも

III:がん腫瘍はさらに広がり、リンパ節に転移する

IV:がん腫瘍は元にあったところから離れた別の臓器へ転移する

※1 治る(=治療)とは、5年相対生存率のことを指します。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。

出典:全国がんセンター協議会の生存率協同調査(2011~2013年全症例)



次の方は無料で受診ができます！ 受診する際は、医療機関窓口にて各種証明書のご提示をお願いしております。

対象者	証明書
①70歳以上の方 (年度中に70歳になられる方も含みます。)	健康保険証等の年齢の分かるもの
②市・県民税非課税世帯(世帯全員が非課税)の方	非課税証明書(令和5年度受診の場合、同一世帯で平成19年4月1日以前生まれの方全員分)(※1) または、最新の介護保険料納入通知書(保険料段階が1~4のもののみ)(※2)
③生活保護受給者の方	「被保護証明書」または「生活保護決定通知書」
④中国残留邦人等支援給付受給世帯の方	「本人確認証」及び「支援給付受給証明書」(受給期間が含まれるもの)

※1 非課税証明書は市税事務所市税課・市税分室管理担当または、区役所・支所市税証明発行コーナーで発行しています。(有料)

※2 「介護保険料納入通知書」については、65歳以上の方に限ります。また、再発行ができません。紛失等の場合は、非課税証明書を提示してください。

受診までの流れ

① 医療機関を選ぶ

市内登録医療機関名簿から受診する医療機関を選びます。

(登録医療機関は市のホームページで「がん検診」と検索するか、右の二次元バーコードをご利用ください。)

〈医療機関名簿〉



② 予約・問合せをする

受診したい医療機関に電話等で予約・問合せをします。連絡の時に必ず「川崎市の●●がん検診の受診を希望」と伝えます。

③ 受診当日

持ち物

- ・年齢・住所が確認できるもの
- ・自己負担が免除される方は各種証明書(※上記参照)

※コールセンターで予約はできません。

※予約から受診までに日時を要する場合があります。また、医療機関によって予約方法が異なります。



受診・検診(健診)控えは危険です！

医療機関や検診会場は新型コロナウイルス感染対策に細心の注意を払っていますので安心して検診をご受診いただけます。あなたとあなたの大切な人のいのちと健康を守るために必要な治療や検診は必ず受けてください。

検診等の詳しい内容

実際にかかる費用
(大腸がんの場合で5,000円前後)よりも
安く受けることができます。

検診名	内容	対象者 ^{※1}	受診回数	費用
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査	40歳以上	1年度に1回	900円 (かく痰検査 ^{※2} は+200円)
大腸がん検診	問診、免疫便潜血検査			700円
胃がん検診 (エックス線検査)	問診、胃部エックス線検査	40歳以上	1年度に1回 ^{※3}	2,500円
胃がん検診 (内視鏡検査)	問診、胃内視鏡検査	50歳以上	2年度に1回 ^{※3}	3,000円
子宮がん検診	問診、視診、頸部の細胞診、内診 コルポスコープ検査 ^{※2} 体部の細胞診 ^{※2}	20歳以上の女性	2年度に1回 ^{※4}	1,000円 (体部細胞診検査 ^{※2} は+800円)
乳がん検診	問診、マンモグラフィ検査	40歳以上の女性		1,000円
骨粗しょう症 検診	問診、骨量測定 (医療機関によって測定方法が異なります)	40・45・50・55・ 60・65・70歳の女性	対象年齢時に1回	DXA法による腰椎測定:1,100円 MD法・SXA法・pQCT法 DXA法のうち腰椎以外の測定 超音波法:600円 700円

「年度」とは、4月から翌年3月までの期間を指します。

※1 対象は年度内に対象年齢になる人を含みます。ただし、骨粗しょう症検診は満年齢期に受診が可能です。

現在それぞれの部位で治療中・経過観察中の方は対象外となる場合がございますので、かかりつけの医師等へ御相談ください。

※2 各検査は医師が必要と認めた場合のみ受診できます。

※3 胃がん検診エックス線検査と内視鏡検査は選択制です。

胃内視鏡検査を受診した翌年度は、胃内視鏡検査も胃部エックス線検査も受診できません。

※4 前年度に受診していない方が対象です。

《適切な間隔で定期的な検診受診が大切です！》



検診の精度は100%ではなく、がんでないのに「要精密検査」と判断される場合や、1回の受診で「がん」と診断できない場合があります。ただし、定期的な検診受診によりがんを発見できる確率は高まります。そのため、がん検診は単発の受診ではなく、適切な間隔で受け続けることが大切です。

●検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。

●がん検診で「異常なし」と判定されても、気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診してください。

その他の検診

検診名	内容	対象者	費用
B・C型肝炎 ウイルス検査	問診、血液検査	平成20年度以降に川崎市が実施する 肝炎ウイルス検査を受けていない市民 ★協力医療機関に直接お申込みください。	無料
歯周疾患検診	問診、歯周組織検査	40・50・60・70歳の市民 (年度内に対象年齢になる方) ★対象の方には、個別に受診券を発送。(7月頃)	900円

※上記以外に、追加で費用がかかる場合があります。その場合、詳細は受診した医療機関にご確認ください。

お問い合わせ

がん検診・骨粗しょう症検診・歯周疾患検診に関しては
「川崎市がん検診・特定健診等コールセンター」

Tel **044-982-0491**

平日 8:30~17:15 第2・第4土曜日 8:30~12:30

※祝日、年末年始は除きます。通常の通話料がかかります。

健康増進担当 Fax 044-200-3986

詳しくは

川崎市 がん検診

検索



B・C型肝炎ウイルス検査協力医療機関は
こちらから検索できます。

感染症対策担当

Tel **044-200-2441**

Fax **044-200-3928**

平日 8:30~17:15



肝炎